

北海道 根室西部圏域 総合水産基盤整備事業計画

1. 圏域の概要

(1) 水産業の概要

① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

- ・当圏域は北海道最東端の根室振興局管内のうち根室市の1市で構成されている。オホーツク海と太平洋に面しており、昔から漁業が盛んな地域である。
- ・根室市内には4漁協所在し、当圏域内では落石漁業協同組合を有しており、スケトウダラ等の刺網漁業、コンブを対象とした採介藻漁業、サケの定置網漁業、タコ類のはえなわ漁業が盛んであり、圏域内にある1港湾及び1漁港を利用して漁業活動を行っており、水揚げ漁獲物の販売事業を中心に健全な経営がなされている。

② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

- ・当圏域の令和元年における漁港における漁獲量は、数量で約5千トン、金額で約26億円となっており、主要漁業種類は刺網漁業、採介藻漁業、定置網漁業、はえなわ漁業が営まれている。
- ・主要魚種の生産量では、マダラ、スケトウダラ等の刺網漁業が約400トン、サケ等の定置網漁業が約400トン、コンブ等の採介藻漁業が約1.6千トン、タコ類のはえなわ漁業が1.7千トンで全体の約80%を占めている。
- ・資源量の状況は、沿岸魚種であるサケの漁獲量の低迷に対して、ウニ等の資源管理手法、栽培漁業手法の導入が進められている。また、根室管内栽培漁業推進協議会が設立され、地域特性に合った栽培漁業の広域的な展開に向けて検討している。

③ 水産物の流通・加工の状況

- ・流通については、各漁港で陸揚げ後、落石漁港（落石地区）、根室港の地方卸売市場を通じて札幌圏等へ出荷しているほか、国外へ輸出している。
- ・加工については、根室市内の加工場でサケ・イクラ等の塩蔵品・干製品等を製造している。

④ 養殖業の状況

- ・当圏域の養殖業について、ウニの人工種苗を根室市内のウニ種苗生産センターから購入し、当圏域内の沖合で放流しているほか、ニシンについても圏域内での種苗放流を行っている。

⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

- ・当圏域の令和元年における漁業組合員数は、正組合員数156名、準組合員数13名となっており、大きな減少はなく、後継者育成についても力を入れており、今後とも新規着業者の参入も見込まれる。

⑥ 水産業の発展のための取組

- ・水産加工業において衛生管理の向上を図るべく、「落石地区衛生管理マニュアル」を策定し、衛生管理・品質管理体制の実践・強化を図っている。
- ・また、落石地区で生産される水産品及び水産加工品の高付加価値化や価格安定化を図るため、ブランド名「しお風」として落石漁業協同組合が商標登録を行い、販売促進活動を行っている。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

- ・圏域内の中核的生産を担う漁港については、将来にわたる水産物の安定出荷により生産基盤の強化を図るための安全な漁労作業や水産物の安定供給を確保するための外郭施設・係留施設等の整備を行う必要がある。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

- ・現状、圏域内の漁港施設に係る統合・廃止・集約化等、機能再編に係る計画は無いが、ニーズに対応した漁港機能の見直しについて随時検討していく。

(2) 圏域設定の考え方		
① 圏域タイプ	流通拠点（一般）型	設定理由； ・水産物を集約する産地市場を有する流通拠点漁港でセリを行い、消費地や加工場へ出荷している。
② 圏域範囲	根室市	設定理由； ・流通拠点漁港への水産物の集約が及ぶ範囲を基準として設定している。 ・落石漁港（落石地区）内には落石漁業協同組合が所在している。
③ 流通拠点漁港	落石漁港 （落石地区、浜松地区、昆布盛地区）	設定理由； ・産地市場を有し、圏域内の水産物が集約されている。 ・屋根付き岸壁及び清浄海水導入施設が整備されており、積込・搬出環境の清潔保持に取り組んでおり、高度衛生管理対策及び防災・減災対策を実施している。 ▶落石漁港 ・利用漁船隻数：230 隻（R1） ・属地陸揚量：5370.9 t（R1） ・属地陸揚金額：26.06 億円（R1） ▶落石漁港（落石地区） ・利用漁船隻数：131 隻（R1） ・属地陸揚量：3,670.5 t（R1） ・属地陸揚金額：19.83 億円（R1） ▶落石漁港（浜松地区） ・利用漁船隻数：29 隻（R1） ・属地陸揚量：521.9 t（R1） ・属地陸揚金額：1.78 億円（R1） ▶落石漁港（昆布盛地区） ・利用漁船隻数：70 隻（R1） ・属地陸揚量：1,178.5 t（R1） ・属地陸揚金額：4.45 億円（R1）
④ 生産拠点漁港		設定理由；
⑤ 輸出拠点漁港	落石漁港 （落石地区、浜松地区、昆布盛地区）	設定理由； ・産地市場を有し、圏域内の水産物が集約されており、高度衛生管理対策が実施されている。

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	5,370
圏域の総漁港数	1
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	1

圏域の登録漁船隻数(隻)	218
圏域内での輸出取扱量(トン)	不明

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	-
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	-
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における	-

魚種別生産量（収穫量）(ト)		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	-	

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

・生産・流通機能の強化

当圏域内の漁港は、漂砂堆積による航路や泊地の埋塞が著しく、近年大型化している漁船に対応した水深を確保できない等、航行や係留に支障を来しているため、埋塞対策、泊地・岸壁当等の改良を講じる必要がある。

また、産地市場を有する落石漁港では ICT を導入し、流通機能の強化を講じる必要がある。

屋根付き岸壁が整備されたことで、安全で信頼性の高い水産物の国内外への供給が可能となった。今後は、総合的な衛生管理体制を確立させるため、関係者の衛生管理意識の向上や施設の効果的運用を図るためソフト施策を講じて行く。

・輸出促進への対応

圏域内の漁港施設等について、輸出先国の衛生管理基準等ニーズに対応した輸出を促進するため、地域での衛生管理を徹底し、衛生管理された高品質な水産物の流通増大及び鮮度保持対策を進める必要があり、更なる衛生管理基準のレベル向上に努めていく。

② 養殖生産拠点の形成

種苗放流体制など栽培漁業・養殖漁業の強化及び水産資源の維持増大の取組の中で、養殖についてコンブやウニの試験養殖に取り組む。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

当圏域の海域は、多様な生物（タラ類・カレイ）が生息し、これらを対象とした漁業も営まれている。令和3年秋に発生した赤潮により多大が被害を受けていることから、沿岸資源の動向に注視し、海水モニタリング等の環境調査を含め、継続的な環境モニタリング調査により状況把握と早期資源回復に向けた取組を推進し、漁場環境を把握する必要がある。

魚礁の造成により資源管理等の取組が行われているカレイ類の育成の場やその他ホッケやスケトウダラ等の生息の場づくりを行い、水産生物の生活史に配慮した広域的な水産環境の整備を行い、環境変化に対応した漁業生産力の強化を講じる必要がある。

主要魚種であるコンブの生産量を確保するため、雑海藻駆除等の対策を行い、漁場生産力の維持・強化を図る。

② 災害リスクへの対応力強化

・漁業地域の安全・安心の確保

自然災害に対応した防災機能対策及び漁港利用者の安全確保のため、外郭施設の耐津波化、岸壁の耐震化を推進することで、漁業活動の継続又は早期再開を図り、圏域における持続的な水産物の安定供給体制を推進する必要がある。

・被災後の地域水産業の早期再開

当圏域の流通拠点漁港である落石漁港では、令和4年3月に落石漁港 BCP を策定しており、自然災害後の漁業活動の早期再開を推進する。

・持続可能なインフラ管理の推進

大規模地震や津波、近年巨大化する台風や低気圧等の自然災害に対し、漁業地域の安全確保を図る必要があるため、新技術の導入も検討し、機能保全計画を見直し、施設診断を迅速かつ高率的に行い、予防保全を含めた持続可能なインフラ対策を講じる必要がある。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

落石漁港において、海業支援に関する施設の整備予定はないが、落石ネイチャークルーズ事業では、貴重な野鳥をターゲットに外国人観光客も訪れるなどの効果が出ており、おちいし岬フットパス等も通して、地域資源を活かした魅力の発信を行い、都市漁村交流をさらに推進する。

② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

当地区では、冬期も操業を行っており、北海道東部沿岸の厳しい風浪・風雪の中で陸揚げ作業に伴い、身体的苦痛を強いられている。屋根付き岸壁の整備により、女性など多様な担い手が安心して漁業に参画できるよう、就労環境の改善を図る。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
落石地区	衛生管理	直轄特定	落石漁港	第3種	○

・衛生管理

岸壁への屋根整備により鮮度保持された品質の高い水産物の安定供給を図り、生産・流通機能を強化し及び輸出促進を図る。

② 養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点
-					

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
北海道太平洋東部	環境変化、資源管理	水産環境

・環境変化、資源管理

魚礁の造成により資源管理等の取組が行われているカレイ類の育成の場やその他ホッケやスケトウダラ等の生息の場づくりを行い、水産物の生活史に配慮した広域的な水産環境の整備を行い、環境変化に対応した漁業生産力の強化を図る。

また、継続的な環境モニタリング調査により漁場環境を把握し、安定した漁業生産を確保する。

② 災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
釧路管内地区	防災	直轄特定	落石漁港	第3種	○

・防災

自然災害に対応した防災機能対策及び漁港利用者の安全確保のため、外郭施設の耐津波化、岸壁の耐震化を推進することで、漁業活動の継続又は早期再開を図り、圏域における持続的な水産物の安定供給を図る。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
-					

② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
落石地区	就労環境	直轄特定	落石漁港	第3種	○

・就労環境

岸壁への屋根整備など、漁港施設の就労環境を改善し、安全で働きやすい環境と快適な生活環境を整え、担い手確保にあたる。

4. 環境への配慮事項

●環境への負荷を軽減するための取組

- ・漁港内での航行に必須である一部標識灯は小型太陽パネルにより電力供給を行っている。
- ・漁業者が漁船建造や機関換装をする際には、「競争力強化機器導入事業」や「漁船リース事業」を活用し、導入・燃油など漁業経費の削減を図っている。

5. 水産物流通圏域図

別紙のとおり

